

働く男のライフスタイル情報紙

Biz [ビズ] Life Style

特別版

2021 06

『Biz Life Style』は東京、関西、仙台、福岡、
にて49万部発行
下記URLまでアクセスを。
www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは

TEL.052-219-7011 FAX.052-219-7041

www.dac-group.co.jp/

企画・制作／株式会社ディリー・インフォメーション中部

〒460-0003 名古屋市中区錦1-20-12 伏見ビル6F

© 2021 DAILY INFORMATION CHUBU CO.,LTD

最高層タワー レジデンス
「名古屋」駅最寄りの
地上42階。

最上を求める人々へ。



My Favorite Life Style

さらなる高みへと導く、 プレミアムなタワーレジデンス



空地を設ける制度)を用いていないため、これらの中庭園は居住者しか利用できない完全プライベートガーデンになっています。

そして、住まいの顔となるエントランスには、迎賓のもてなしを感じさせる大型の寄せを採用。「層吹き抜けのグランドロビー」をはじめホテルライクな内廊下や3つのゲストルーム、名駅を一望できるエグゼクティブツイン出し可能なコミニステーションの各階設置はもちろんのこと、居住者のために多彩な共有空間が用意されている。また、暮らしを快適にする設備サービスも充実しており、エレベーターやエントランス用エレベーター、廊下を清掃するロボット掃除機など、先進的な新機器も数多く採用されている。

気になる専有部は天井高2500mm~最大3000mmのゆとりある空間設計が大きなポイント。間取りは1~4LDK~4LDKまで豊富なプランバリエーションが用意されているが、30階以上の高層フロアはすべて100坪以上の広さを有してお、100坪を超える戸数がなんと約90戸も用意されているのである。

まさに贅を尽くしたプレミアムなタワーレジデンスであることは間違いないが、タワーレジデンスと聞くと、防災面に一抹の不安を抱く人もいるだろう。しかし、「ナゴヤザタワー」の建物には長周期地震対応設計の制振構造が採用されており、防災面においてもプレミアムな対策が施されている。たとえば、通常、一般的な住宅は低圧管という管からガスが供給されているが、「ナゴヤザタワー」では、低圧管ではなく大元の中圧管引き込みでいるため、いざという時もガスの供給がストップする場合に限る。(さらに)ガスから電気を作るガス発電機によって稼働する非常用エレベーターが設置されているため、停電時でもエレベーターを使用することができるのである。また、非常食などを備蓄する防災倉庫が各階に設置されており、雨水や川の水から安全な飲料水を生成・供給する非常用飲料生成システム「WE-LIUP」も導入されている。「ナゴヤザタワー」は悪態を想定したうえで、防災対策を講じているのである。

名古屋駅ミヤコ地下街(4番出入口)から徒歩8分。さしまつり地区に続く大規模再開発エリアとして期待が集まる名駅南エリアに2023年地42階建ての超高層タワーマンションが誕生する。現在、名駅南エリアはリニア中央新幹線の開業に向けた再開発が着々と進んでおり、「名鉄名古屋駅地区再開発」や「名古屋駅さしま地下道路整備計画」、柳橋中央水産ビル跡地計画(予定)※2などの大規模開発計画が数多く予定されている地域のエリアである。

この新しい超高層タワーマンション「ナゴヤザタワー」の建設地は、もともとパノニック工場の跡地であり、総開発敷地面積は1万5000㎡に及ぶ。「ナゴヤザタワー」はそのうちの約5800㎡を用いて建てられている。だが、西側には広大な土地がまだ空いており、いずれの土地も長谷工コーポレーションが購入しているため、周辺エリアの開発計画とともに残る敷地の開発にも期待が寄せられている。

一般的に都心部のタワーマンションは低層階に商業施設が入る複合型が多いのだが、「ナゴヤザタワー」は数少ない完全住宅型のフレイバーレジデンスである。そもそも名古屋はタワーマンションの数が非常に少ないと言われており、1989年以降に名古屋市内で分譲された20階建て以上の高層マンションは36棟しかないそうだ。人口1万人あたりに占める割合は約15%で、東京23区約34%、大阪市(約62%)と比較すると、如何に少ないかがよくわかるだろう。さらに4階を超える本格的な高層タワーマンションとなると、名古屋市内にわずか4棟しか存在せず、このことからも「ナゴヤザタワー」の希少性が窺い知れる。

では、「フレイバーレジデンス」としてのクリティは果たしているのだろう。今回、「ナゴヤザタワー」のデザイン監修は国内外で活躍する建築家、光井純氏が手掛けているのだが、光井氏のこだわりが強く表れているのが広大なランドスケープである。「名古屋都心の森につくる」をコンセプトに、都心部で空ながら敷地面積の約70%を空地とし、その中に緑豊かな空間と水景を探用。敷地の入り口からメインエントランスまで続くクリーンアプローチはすぐ脇に小川が流れ、森の小道を散策するような憩い空間をつくりだしているのである。

さらに、敷地内にはローズスタイルの大野耕生氏が監修した「ラワーガーデン」と、小田・マリールース氏のオブジェ作品を展示したアートガーデンの趣異なる2つの庭園が設けられている。ちなみに、「ナゴヤザタワー」は総合設計制度(一般公衆が自由に入り出しきる公開



樹々のトンネルを抜けていくように、エントランスへと続くグリーンアプローチ
都心部であることを忘れさせるほど、豊かな自然で彩られたプライベートガーデン
メインエントランス前に広がる、美しい緑と水景が煌めく静かな中庭



友人や家族などの宿泊に使えるゲストルームは趣の異なる3つのタイプをご用意
名駅を一望できるエグゼクティブラウンジ。キッチン付きで貸切り利用も可能



光井純&アソシエーツ建築設計事務所代表。1978年東京大学工学部建築学科卒業。4年間実務を経験後、渡米し1984年イェール大学建築学科大学院修了。世界を舞台に様々なプロジェクトに従事。2007年にはAIAジャパンの会長も務め、グッドデザイン賞、BCS賞など受賞多数。

